

揮発性有機化合物排出施設設置（使用、変更）届出書

年 月 日

東 大 阪 市 長 様

届出者

住 所

氏 名

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

大気汚染防止法第17条の5第1項(第17条の6第1項、第17条の7第1項)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

ふ り が な 工場又は事業場の名称	(電話番号)	※整理番号	
		※受理年月日	
		※施設番号	
工場又は事業場の所在地	(郵便番号)	※審査結果	
揮発性有機化合物排出施設の種類		※備考 (受付印等)	(大阪府)
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。		(市町村)
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。		
添付書類 1. 揮発性有機化合物排出施設及び処理施設の設置場所を明記した図面(工場又は事業場の平面図) 2. 変更概要説明書(変更届の場合に限る)			

参 考 事 項			
工場又は事業場の事業内容		届け出すべき者が 常時使用する従業員数	
工場又は事業場の規模		資 本 金	
当該届出についての担当部課名及び緊急時連絡先 (電話番号)			

備考 1 揮発性有機化合物排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

5 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
規模	送風機の送風能力 (m ³ /h)		
	排風機の排風能力 (m ³ /h)		
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m ²)		
	容 量 (kL)		
1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回、 回/日、 日/月	時～時 時間/回、 回/日、 日/月	
排出ガス量 (m ³ /h)			
使用する主な揮発性有機化合物の種類			
揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm (炭素換算))			
添付書類 揮発性有機化合物排出施設の構造概要図 (主要寸法を記入すること)			

操業の系統の概要 (作業工程)	
参考事項	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の 2 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が 1 気圧の状態における量に換算したものとす。
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法 (排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。)等を記載すること。

別紙3 ばい煙の処理方法
 別紙2 揮発性有機化合物の処理の方法
 別紙1の3 ばい煙等の処理等の方法 (ばい煙)

ばい煙処理施設、揮発性有機化合物の処理施設 (ばい煙等の処理等を行う施設) の工場又は事業場における施設番号						
処理に係るばい煙発生施設 (揮発性有機化合物排出施設) (届出施設) の工場又は事業場における施設番号						
ばい煙処理施設 (揮発性有機化合物の処理施設) (ばい煙等の処理等を行う施設) の種類、名称及び型式						
設置年月日		年	月	日		
着手予定年月日		年	月	日		
使用開始予定年月日		年	月	日		
処理能力	排出ガス量 (m ³ /h)	最大				
		通常				
	排出ガス温度 (°C)	処理前				
		処理後				
	ばいじん (g/Nm ³)	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処理効率				
	いおう酸化物 (ppm)	処理前				
		処理後				
		処理効率				
	窒素酸化物 (ppm)	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
		処理効率				
	揮発性有機化合物 (容量比 ppm (炭素換算))	処理前				
		処理後				
処理効率						
(mg/ m ³) (ppm)	処理前					
	処理後					
	処理効率					
(mg/ m ³) (ppm)	処理前					
	処理後					
	処理効率					
ばい煙量	いおう酸化物 (m ³ /h)	最大				
		通常				
使用状況	1日の使用時間及び月間使用日数等	時から	時まで	時間/回、	回/日、	
	季節変動			日/月	日/月	
排出口の実高さ H _o (m)及び頂上口径 D(m)	H _o		D	H _o	D	
	排出口の番号					
陣傘の有無		有・無		有・無		
補正された排出口の高さ H _e (m)						
排出速度 (m/s)						
排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離(m)						
添付書類 ばい煙処理施設、揮発性有機化合物の処理施設 (ばい煙等の処理等を行う施設) (煙突、フード、ダクトを含む。)の構造概要図 (主要寸法及び測定箇所を記入すること。)						

排出口の中心からその至近距離にある他人の所有する建築物 (倉庫等は除く。)の実高さ h(m)及び水平距離 d(m)	h d	h d
ばい煙測定口の有無及び口径	有 (口径 mm) ・ 無	有 (口径 mm) ・ 無

- 備考 1 設置届出の場合には着手年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
 2 ばい煙の濃度は乾きガス中の濃度、揮発性有機化合物濃度は湿りガス中の濃度とすること。
 3 補正された排出口の高さ H_e は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
 4 参考事項として、処理効率に係る設計上の基本的事項に関する資料を添付すること。